

「幸いと哀れ」

1. はじめに

- ・マタイにある山上の説教（5～7章）はルカが分散した形にあり（地平の説教といわれる）、マルコは地の塩と離縁だけがあり、ヨハネにはない。ここから分かることは、ヨハネの福音書にあるように、主イエスのみことばは、もっとたくさんあるということです。ヨハネ 21 : 25
- ・モーセがシナイ山に上り、①神のことばを受け取った。②そして山を下り、神のことばを民に語った。マタイは①をユダヤ人クリスチャンの弟子教育に山上の説教として使い、ルカは②のモーセの業を来るべきイエスの業として語った。
- ・ルカ 6 : 12 ~ 19
- ・12弟子を選ぶ。使徒と名づける。山を下り、そこには弟子たちと民衆がいた。

2. 本文

- ・イエスは目を上げて弟子たちを見つめながら、話しだされた。20節
- ・20～23 あなたがたは幸いである。  
 （あなたがた） 貧しい者 20節  
 （あなたがた） いま飢えている者 21節  
 （あなたがた） いま泣く者 21節  
 人の子のため、人々があなたがたを憎むとき、除名、辱め、けなすとき 22節
- ・24～26 あなたがたは哀れです。  
 あなたがた 富む者 24節  
 いま食べ飽きているあなたがた 25節  
 いま笑うあなたがた 25節  
 みなの人がほめるとき、あなたがたは 26節

\*この本文では「幸い」と「哀れ」でした。この「幸い、哀れ」は神の国の価値観です。何が言いたいのか。価値観の逆転です。貧しい者を幸いといい、富む者を哀れと言う。私たちは幸福を求める。

\*人生の選択の問題か、キリストにある自由か。

- ・クリスチャンにとって、この世はどのような世界か。どのような意味を持つのか。
  - ・ヨハネ 8 : 32 ・IIコリント 3 : 17
  - ・ルカ 10 : 3 「さあ、行きなさい。いいですか。わたしがあなたがたを遣わすのは、狼の中に小羊を送り出すようなものです。」
  - ・ルカ 17 : 1 「つまずきが起こるのは避けられない。」
  - ・ピリピ 4 : 12 「私は貧しさの中にある道も知っており、豊かさの中にある道も知っています。」

3. まとめ

- ・決断。
- ・しかし、弱さを助けるもの。